

Cultural Properties  
konanmachi

踊る  
はにわの  
里

# 江南町の文化財



# “踊るはにわ”が、 いにしえ人の思いを伝える

江南町の  
シンボル

## 埴輪「踊る男女」

(東京国立博物館蔵)

通称「踊る埴輪」は、昭和5年(1930)に大字野原に所在する野原古墳より開墾中に発見されたもので、現在は上野にある東京国立博物館に展示されています。

この二体の埴輪は、いかにもリズムをとって踊っているように見えるところから「踊る埴輪」と名付けられました。

大きい方の埴輪は高さ63.9cmを測り、顔の左右に小円孔をあけて耳を表しています。小さい方の埴輪は高さ56.5cmを測り、頭部にふりわけ髪と顔の左右に蝶形の角髪(みずら)を結び、左腰には紐を下げ、後腰には鎌を差しています。角髪を結った方が男性と考えられています。全身は大胆な省略法で素朴に表現されており、いかにもおどけた表情は大変親しみが感じられます。



## 国指定 Cultural Properties

1

国指定重要文化財



### 平山家住宅

ひらやまけじゅうたく

平山家は武蔵武士の末裔と伝えられ、戦国時代には深谷上杉氏に仕えていましたが、深谷城落城後、当地に土着、帰農し樋春村の世襲名主を勤めた旧家です。

住宅は中世の館跡に建てられており、建築年代は17世紀末から18世初頭と推定されます。外観は入母屋造り、芽萐き屋根を葺き降ろし、西・南面は大屋根下方に庇屋根を造りだし、裾囲りを引き締めています。

桁行17.4m、梁間11.9mで、特に梁間は農家住宅としては県内最大です。大型広間型を基本とした南関東における大農家の代表例です。

2

県指定考古資料

## 嘉禄銘板石塔婆

かるくめいいたいしとうば

本資料は日本最古の紀年銘（嘉禄3年：1227）をもつものとして知られています。

上半分には阿弥陀如来の座像及び、観音・勢至菩薩の立像を彫り出し、下半部に銘文を陰刻しています。現存高143cm、幅61cm、厚さ12cmを測ります。

なお、本資料は大字須賀広地内の大沼公園の弁天島に建てられていましたが、現在は町教育委員会で収蔵しており、同地には緑泥石片岩を用いた模造品が建てられています。



3

県指定考古資料

## 安貞銘板石塔婆

あんでいめいいたいしとうば

嘉禄3年銘板石塔婆について2番目に古い紀年銘（安貞2年：1228）を有し、種子使用の完形品としては日本最古です。

材質は緑泥石片岩で上半部に主尊として表された種子は、梵字によって「阿弥陀如来」を表す「キリーク」が薬研彫りされています。また下半部には四行の銘文が草書体で刻まれ、その配置は定型化しておらず、かなり奔放な印象を受けます。

高さ126cm、幅39cm、厚さ6.5cmを測ります。

### 用語解説

#### 「キリーク」

古代インドのサンスクリット語を表す文字の一つで、「阿弥陀如来」を象徴的に表すものとして、曼陀羅や卒塔婆などに多く用いられた。



4

県指定考古資料

## 寛喜銘板石塔婆

かんきめいいたいしとうば

嘉禄3年、安貞2年銘につぐ古い紀年銘（寛喜2年：1230）をもつ板石塔婆です。ほぼ中央部分で上下に分断され、一部を欠失しています。

上半分には、阿弥陀如来立像及び、脇侍二菩薩をそれぞれ彫り出しています。下半部には、銘文が楷書体で左右対称に振り分けられています。



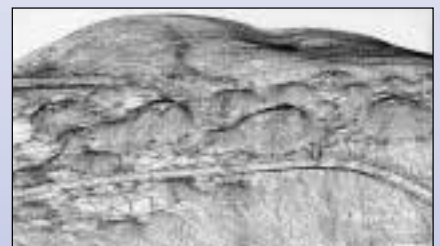
5

県指定史跡



## 塩古墳群

しおこぶんぐん



塩古墳群は、大字塩の八幡神社の南北の丘陵上に広く分布する98基の古墳の総称です。このうち、前方後方墳を含む23基が県指定史跡に指定されています。古墳群中最大規模の一号古墳は前方後方墳で古墳群のほぼ中心に位置し、築造期は4世紀代と考えられています。墳丘の主軸長は35.5mで周溝も確認されています。



# 江南町文化財MAP

## 豊かな歴史と薫り立つ文化。

**町指定 彫刻**

**11 浄安寺千体地藏【じょうあんじせんたいじぞう】**

本千体地蔵は、浄安寺地蔵堂の中に地蔵菩薩と共に納められている、素彫の地蔵約630体です。ほとんどが一木造りの木造仏で、全高20cm前後のものも多く、最も古いもので寛永年間（1670年代）最も新しいもので昭和32年に奉納されています。

これらは、地蔵信仰のもと、一体ずつ子安・治癒・延命等の願を込めて納められたもので、当時の民間信仰の在り方を示す貴重な資料です。

**町指定 古文書**

**19 篠場家文書【しのばけもんじょ】**

戦国期の文書5点と近世初頭期から明治初年までの文書20点の計25点からなるこの文書は、大字板井内に近代まで所在した本山派修験寺院である長命寺の住職を勤めた篠場家に保存されてきた史料群です。

戦国～近世初頭の聖護院門跡や幸手不動院といった関東における修験の存在を知る上で貴重な史料です。

**町指定 考古資料**

**23 正嘉銘板石塔婆【しょうかめいいたいしとうば】**

宝幢寺本堂前の松の下に建てられているこの板石塔婆は、正嘉2年（1258）銘と古く、上半部に葉影彫りされている阿彌陀如来（キリク）の種子は56cmと身部の三分の一を占めるほど大きく、雄大な印象を与えます。また、下半部には宋朝風の風変わりした楷書体の銘文が刻まれています。その内容は、亡き父の靈魂の成仏を祈るためのものです。

**町指定 歴史資料**

**27 旧千代村高札【きゅうせんだいむらこうさつ】**

高札とは、法令を横長の板に墨書し、それを支配領民に掲示して周知させる目的で掲げられました。江南町で指定されている高札は、1、切支丹禁制の高札（元和2年：1616）2、御鷹場の高札（享保6年：1721）3、切支丹禁制の高札（明治2年：1869）4、勸農の高札（慶応4年：1868）5、徒党の高札（慶応4年：1868）の5枚です。

**町指定 歴史資料**

**29 寛政銘双体道祖神像【かんせいりょうたいどうそじんぞう】**

道祖神は村境や橋のたもとに建てられ、外からやってくる病や疫病を防ぐと言われていますが、押切の双体道祖神は足的神様としての信仰がみられ、足の病になると大きなわらじを作って奉納祈願しました。

造立は寛政10年（1798）で、全高76cmを測ります。

**町指定 歴史資料**

**30 享保銘波乗弁財天像【きょうほうめいなみのりべんざいてんぞう】**

荒川に架かる押切橋の西の共同墓地に不動明王や庚申塔等とならんで建てられています。近くに荒川から取水した御正用水が流れており、もとは、この用水に架かる橋際に建ち、用水を守る水神として奉られていたと言われています。

造立は享保12年（1727）で、全高96cmを測ります。

**町指定 史跡**

**33 高根横穴墓【たかねおうけつぼ】**

本横穴墓は、大字小江川内に所在する通称「ポンポン山」山頂付近南西側の急斜面地に位置しています。入口部の幅は、2.5m、高さ1.5m、奥行4mを測り、形態はカマボコ形を呈しています。7世紀以降に造られた、県内でも最終的に位置付けられる横穴墓で、周辺には数基埋没している可能性があります。

**町指定 史跡**

**34 寺内古代寺院跡【てらうちこだいじいんあと】**

ゴルフ場造成に伴う発掘調査の結果、東西570m、南北200m以上の区画大溝、講堂、金堂、東塔、中門、参道跡等の遺構や、「花寺」「東院」等が墨書された土器が多数確認されています。創建は奈良時代と推定され、当地で最も古の本格的伽藍配置を採用した大寺院であったと考えられます。

**町指定 史跡**

**35 権現坂埴輪窯跡（西群）【ごんげんざかはにわかまあと（せいぐん）】**

本窯跡群は、ゴルフ場の外周道路工事に先立つ発掘調査で10基余りの埴輪窯跡と2軒の住居跡が確認されており、周辺にはさらに多くの窯跡や住居跡、粘土探掘坑が存在すると推定されます。県内でも最大規模の埴輪窯跡群で、粘土の探掘から製作・焼成に係る一連の遺構が保存されていると考えられます。

**町指定 歴史資料**

**37 野論裁許絵図【やろんさいしきよえず】**

本絵図は、延宝6年（1678）に、御正村他四ヶ村と千代・三本村との間で起きた入会地の利用をめぐる野論について、幕府が下した裁許状です。裁許状の表には係争地が描かれ、村境を明示する墨線が引かれ、裏面には、裁許の内容を示す文言とそれを下した評定所構成員（寺社奉行・町奉行・勘定奉行）の署名・押印がみられます。



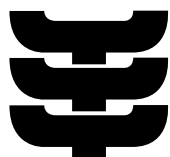
- 20 野原古墳副葬品
- 21 塩西遺跡第2号土坑出土遺物
- 22 塩古墳群第 支群(西原)第18号古墳出土遺物
- 23 正嘉銘板石塔婆
- 24 弘安銘曼陀羅板石塔婆
- 25 正安銘板石塔婆
- 26 正嘉銘虚空蔵菩薩板石塔婆
- 27 旧千代村高札
- 28 旧観音寺地蔵
- 29 寛政銘双体道祖神像
- 30 享保銘波乗弁財天像
- 31 押切八幡神社獅子頭
- 32 行人塚古墳
- 33 高根横穴墓
- 34 寺内古代寺院跡
- 35 権現坂埴輪窯跡（西群）
- 36 華山築庭園
- 37 野論裁許絵図

15 旧千代村水帳・16 駒形神社御朱印状は、町外に保管されています。

注：文化財の見学は、所有者（管理者）の許可を得てからしてください。文化財を傷つけたり、周囲を汚したりしないようにしてください。

## 指定文化財一覽

番号	指定区分	種 別	名 称	指定年月日	所有者（管理者）
1	国指定	重要文化財	平山家住宅	昭和46年 6月22日	個人
2	県指定	考古資料	嘉禄銘板石塔婆	平成 2年 3月28日	江南町
3	県指定	考古資料	安貞銘板石塔婆	平成 2年 3月28日	真光寺
4	県指定	考古資料	寛喜銘板石塔婆	平成 2年 3月28日	江南町
5	県指定	史跡	塩古墳群	昭和35年 3月28日	江南町
6	町指定	建造物	文殊寺仁王門	昭和32年10月18日	文殊寺
7	町指定	建造物	諏訪神社本殿	昭和32年10月18日	諏訪神社
8	町指定	建造物	柴田家書院	昭和32年10月18日	個人
9	町指定	絵画	谷文晁筆画帳	昭和32年10月18日	個人
10	町指定	絵画	伝明兆筆弁財天図	昭和32年10月18日	個人
11	町指定	彫刻	浄安寺千体地藏	平成 9年 1月20日	浄安寺
12	町指定	彫刻	宝幢寺阿弥陀如来像	平成 9年 1月20日	宝幢寺
13	町指定	工芸品	菊文亀甲散双雀鏡	昭和32年10月18日	個人
14	町指定	工芸品	月山銘小刀	昭和32年10月18日	個人
15	町指定	書籍	旧千代村水帳	昭和32年10月18日	個人
16	町指定	書籍	駒形神社御朱印状	昭和32年10月18日	県立文書館寄託
17	町指定	書籍	医学天正記	昭和32年10月18日	個人
18	町指定	書籍	渡辺華山書簡	昭和32年10月18日	個人
19	町指定	古文書	篠場家文書	平成 9年 1月20日	個人
20	町指定	考古資料	野原古墳副葬品	昭和32年10月18日	江南町
21	町指定	考古資料	塩西遺跡第2号土塚出土遺物	平成 9年 1月20日	江南町
22	町指定	考古資料	塩古墳群第 支群（西原）第18号古墳出土遺物	平成10年 2月10日	江南町
23	町指定	考古資料	正嘉銘板石塔婆	昭和32年10月18日	宝幢寺
24	町指定	考古資料	弘安銘曼陀羅板石塔婆	平成 9年 1月20日	江南町
25	町指定	考古資料	正安銘板石塔婆	平成 9年 1月20日	個人
26	町指定	考古資料	正嘉銘虚空蔵菩薩板石塔婆	平成 9年 1月20日	個人
27	町指定	歴史資料	旧千代村高札	昭和32年10月18日	江南町
28	町指定	歴史資料	旧観音寺地藏	平成 9年 1月20日	真光寺
29	町指定	歴史資料	寛政銘双体道祖神像	平成 9年 1月20日	押切区
30	町指定	歴史資料	享保銘波乗弁財天像	平成 9年 1月20日	押切区
31	町指定	民俗資料	押切八幡神社獅子頭	平成 9年 1月20日	押切区
32	町指定	史跡	行人塚古墳	昭和32年10月18日	江南町
33	町指定	史跡	高根横穴墓	平成 9年 1月20日	個人
34	町指定	史跡	寺内古代寺院跡	平成10年 2月10日	個人 他
35	町指定	史跡	権現坂埴輪窯跡（西群）	平成10年 2月10日	個人
36	町指定	名勝	華山築庭園	昭和32年10月18日	個人
37	町指定	歴史資料	野論裁許絵図	平成14年 7月30日	江南町



平成15年3月

## 江南町教育委員会

〒360-0192 埼玉県大里郡江南町中央1丁目1番地

TEL.048(536)1521(代) FAX.048(536)4130

URL.<http://www.konanmachi-stm.ed.jp/kyoui/>